

ルクセンブルク所得研究ワークショップのご案内

ルクセンブルク所得研究 (LIS : Luxembourg Income Study)は、世界主要国の家計所得に関する統計データを収集してデータベースを整備しているプロジェクトであり、所得分布に関する国際的なデータベースとして最も有名なものです。

この度、L I Sのジャネット・ゴルニック教授、マーカス・ジャンティ教授をお迎えして、下記のとおりワークショップを開催することとしました。

所得分布等の問題に興味をお持ちの方、L I Sのデータを使いたいと思っている方の参加をお待ちしております。

日時 平成23年1月13日(木) 13:00 ~ 18:00

場所 総務省 統計研修所3階教室(新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎)
アクセス方法はこちら <http://www.stat.go.jp/info/guide/7-1.htm>

内容

- ・ルクセンブルク所得研究(LIS)の概要
- ・LISデータベースの内容
- ・LISを使った研究例: 貧困と雇用問題
- ・ " " : 所得の不平等と資産
- ・慶應パネルデータについて
- ・公的統計のマイクロデータの利用に関する統計センターの取組について

通訳はありません。なお、参加費は無料です。

講演者 ジャネット・ゴルニック LIS Director(ニューヨーク市立大学教授)
マーカス・ジャンティ LIS Research Director(ストックホルム大学教授)
コリン・マッケンジー 慶應義塾大学教授 他

対象者 LISデータの利用を考えている研究者の方(定員: 39名)

【参加申込】氏名、所属、電話、メールアドレスを明記の上、下記宛てメールでお申し込み下さい。

独立行政法人統計センター・統計データ高度利用推進室

E-Mail: lis-jimukyoku@nstac.go.jp Tel: 03-5273-1205

定員に達した時点で申込を締め切らせていただきます。

【LISと統計センターとの協定締結について】

平成21年10月に、統計センターは、LISと、データ利用に関する協定を締結しました。

これにより、わが国の政府機関職員その他国内の大学や非営利機関の研究者は、LISのデータベースを無料で利用できることとなりました。(詳しくは、統計センター・統計データ高度利用推進室にお問い合わせください。)

主催：総務省統計局、独立行政法人統計センター、慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター